

みんなdeスポーツ! わが町の取り組み



山口県立防府総合支援学校は、県中部の瀬戸内海に面した防府市にあり、本年度は児童・生徒149人（肢体不自由・知的障害・病弱）が在籍しています。本校には八つの運動部と九つの文化部があり、中学部・高等部の生徒自らが希望して所属し活動しています。今回はその一つ、カヌー・登山部について紹介します。

カヌー・登山部の本年度の部員は、高等部の知的障害の生徒8人です。自然の中でカヌーや登山を楽しみながら、心身を鍛え、また、卒業後の余暇活動につなげることを目標に、毎週木曜日の放課後と長期休業中に活動しています。長期休業中の宿泊を伴う活動には、

卒業生や保護者の参加もありま
す。卒業生
の中には、

みんなで弁当を食べたり、おやつ交換をしたりして過ごした久住山山頂でのひととき

山口県 カヌーや登山で大自然を満喫

毎年のこの活動を楽しみに仕事を頑張っている人もいます。

1年間を通して、市内から1時間前後の活動で登山可能な標高1000～5000mの山に登っています。また、6月上旬～9月下旬は、市内を流れる佐波川でカヌーを行っています。

夏季休業中に行う毎年恒例の活動には、萩市須佐湾エコロジーキャンプ場でのケビンを利用してのシーカヤックと、大分県飯田高原のペンションを利用しての久住山登山があります。シーカヤックでは、カヌーで岩場に開いた洞窟にも入ってみます。久住山登山は、登りは苦しいものの、山頂での爽快感は格別です。夕食のバーベキューも楽しみの一つです。

このような活動も、先生方や保護者の理解と協力があったことです。本校教育後援会からの支援も受けています。本年度も活動が始まり、卒業生からは問い合わせが入り始めました。

（椋木好和・山口県立防府総合支援学校カヌー・登山部顧問）